

第167回「防災まちづくり談義の会」レポート

(防災塾・だるま・ホームページ: <http://darumajin.sakura.ne.jp/>)

2019年5月

◆日時: 2019年5月24日(金)16:00~18:00

◆会場: 桜木町びおシティ 6階 さくらリビング第1研修室

◆主催: 防災塾・だるま

司会・記録: 中島光明

◆談義の会参加者: 会員 24名(含む講師)、一般 10名、計 34名 (敬称略)

話題: 『平成の地震災害対策を振り返って』

杉原 英和氏

講師: 杉原 英和氏 一般社団法人 神奈川県建設業協会 事業部長
(元神奈川県総合防災センター所長)

神奈川県に入所されて以来30有余年間、防災行政に携わってこられ、この度定年退官されました。その記念講演として、平成時代30年間に発生した自然災害を振り返り、その対策の変遷を検証いただきました。また、将来に向かっての提言にも触れていただきました。



平成時代の主な災害:

- 元~10年: 伊豆群発地震 (1989年)
阪神淡路大震災 (1995年)
- 11~20年: 新潟県中越地震 (2004年)
岩手・宮城内陸地震 (2008年)
- 21~30年: 東日本大震災 (2011年)
熊本地震 (2016年)

大震災の教訓で何が変わったか:

<阪神淡路大震災>

◇災害対策基本法の改正

- 自衛隊派遣: 知事に限定していた権限→市町村長にも
- 自主防災組織やボランティアの重要性: ボランティアによる活動を法に明記

◇地震防災対策特別措置法の制定 (1995年):

地震調査研究推進本部の設置

◇建築物の耐震改修の促進に関する法律の制定 (1995年)

◇被災者生活再建支援法の制定 (1995年):

高齢者の生活再建を支援

◇医療法の改正: 災害拠点病院の整備、災害派遣医療チーム (DMAT) の育成

<東日本大震災>

◇津波防災地域づくりに関する法律の制定

- 「何としても人命を守る」、ハード・ソフト施策を総動員し「減災」を目指す
- 津波浸水シミュレーション、浸水想定の設定、災害警戒区域等の指定・公表

◇災害対策基本法の改正 (2012~13年)

- 防災教育の強化、緊急時避難場所の指定、り災証明の交付、地区防災計画
- 大規模災害からの復興に関する法律: 許認可等の緩和特例など



杉原 英和氏 退官記念講演

<何が変わったかを分野別に整理>

- 対策対象地震: 地域で経験している歴史地震 → 想定外をなくす (M9の地震まで)
- 予知への期待がしぼむ: 予知情報の困難性を認知し、東海地震の警戒宣言発令を止める
- 耐震化の進展: 新耐震基準の制定、耐震改修促進法の制定、免震・制震技術の進歩
- 応急対策が強化: 非常に進化した (救助部隊、災害医療、本部活動、応急体制)
- 情報が強化: 情報収集ツール、情報発信ツール、地震情報の強化、災害情報管理システム
- 被災者支援が強化: 救助法の柔軟な適用、被災者生活再建支援法の制定、ボランティア

将来に向かって:

- 日本の防災・危機管理対策は原因別に法体系化 → 大きく一本化すべき
- 防災・危機管理における権限は規模により広域官庁に引き上げる体制が必要
- 警察庁のような体制・防災庁の創設が必要

●次回 (第168回) 案内

- 日時: 2019年6月28日(金)16時~17時30分
- 会場: 神奈川大学 24号館 310号室
- テーマ: 災害時に命を守る「応災力」 荻原洋聡氏: (株)NYK 参事 (元海上自衛隊一等海佐)